【報告資料】

テーマ「ヤングケアラーって知っている？」

設問	意見件数
Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?	202件
Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?	291件

報告資料のよみ方は？

どのテーマでも沢山意見をいただいたので、各設問で出された意見は、このように掲載しています。

方向性ごとの分類

①各設問で出された意見を意見の方向性ごとに分類

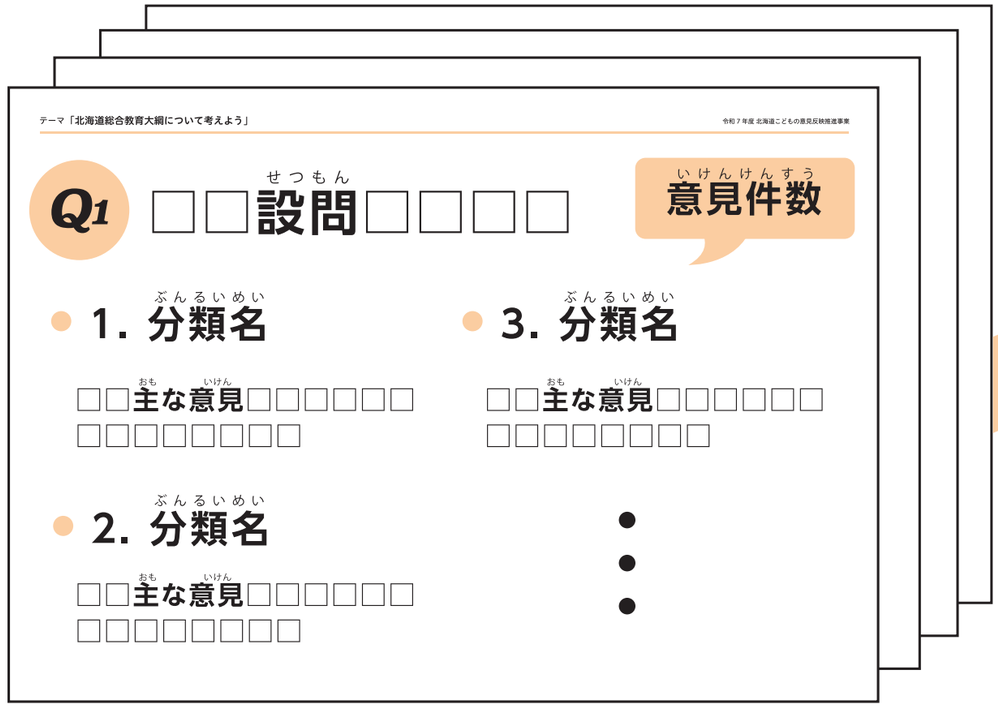
②その分類の中の主な意見を掲載

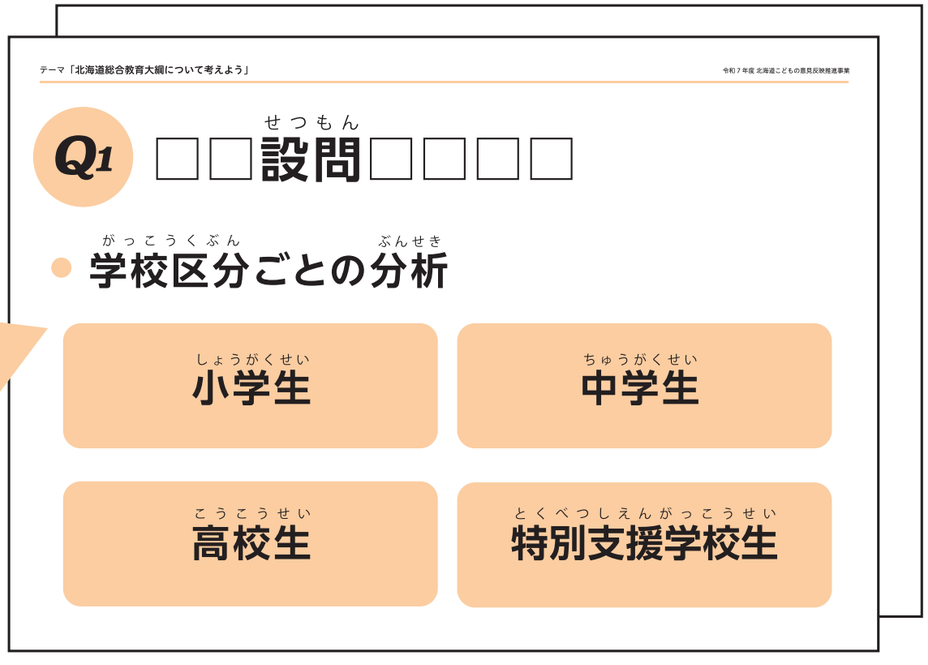
③右上に、その設問で得られた意見の件数を掲載

学校区分ごとの分析

①各設問で出された意見を学校区分ごとに分析

②多かった意見や意見の傾向などを読み取り掲載





Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

意見件数 202件

1 情報収集

- Googleで検索、ホームページを見る、チャットGPTで調べるなど、ツールを活用する
- インターネットや公式HP・サイトで調べる
- ヤングケアラーの生活、環境、病気や仕事について調べる
- YouTubeなどで実際の映像を見てみる
- まずは詳しく調べる
- ちゃんと知る

2 想像・共感

- 相手の立場になって考えてみる
- 自分に置き換えて考えてみる
- ヤングケアラーの立場で考える
- 自分がもしヤングケアラーだったらどうか、どんな気持ちでどんなことをしているのかを一緒に考えてあげる
- 自分が思っているよりも大変なことを理解する

Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

3 体験・実践

- ヤングケアラーのやっていることを、実際に体験してみる
- 実際にヤングケアラーの手伝いをして、どう感じるかを知る
- 自分の家庭で洗濯や料理などの家事を体験する

4 接し方・心構え

- 差別しない
- 偏見を持たない
- 偏見をなくす
- 否定しない
- けなさない
- バカにしない
- 笑ったりおちょくったりしない
- 普通に接する
- 相手にとって不快になることを言わない
- 互いに認め合う
- ヤングケアラーたちを尊敬する

Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

5 理解への意欲

- ちゃんと考える
- 一生懸命考える
- 自分なりに考える
- 知る努力をする
- 理解する努力をする
- ちゃんと知る
- 気付いてあげる
- 今の状況を理解する
- ヤングケアラーの気持ち
- 大変さを知る
- 人の気持ちを考える

6 サポート体制

- 相談できる場所をつくる
- 相談に乗る
- 一人で抱え込まないで相談する
- 相手を気に掛ける
- 周りに気を配る
- 寄り添う
- そっとしておく
- 遊びに誘ってあげる
- 困っていたら説得してリラックスさせる

Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

7 具体的行動・支援

- 支える
- 助け合う
- みんなで支える
- 助け合いをする
- 心の支えになってあげる
- 募金
- 手伝う
- 手伝ってみる
- 自分にできることがあるか聞く
- 手伝えるものは手伝う

8 教育・制度化

- 専門家やケアに詳しい人を呼んで講義をしてもらう
- 学校の授業や道徳で取り入れて考える
- 教科書（道徳、国語）にのせたり、文書を扱ってもらう
- 日本や世界でヤングケアラーの法律をつくる
- 政治革命（法律を変える）

Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

9 コミュニケーション

- 話を聞く
- 人の話をちゃんと聞く
- 相手の話を最後まで聞いてあげる
- ヤングケアラー本人、当事者、経験者から話を聞く、質問する、取材する
- 本音を聞く
- 会話する
- 沢山おしゃべりする
- 沢山話す
- 状況や様子を聞き、相手の気持ちになりながら会話してみる

10 周囲への発信

- 頑張って伝える
- ちゃんと伝える
- 相手に伝わるまで伝える
- SNSに投稿したりする

Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

学校区分ごとの分析

小学生

もし自分だったらと相手の気持ちを想像することを大切にしています。見下したりせず、友達として優しく接したいという思いが強く、実際に家事などをやってみて大変さを知りたいという意見も目立ちます。中学生や高校生と比べ、身近な友達を助けたいという優しさや、学校の授業で学びたいという意欲が共通しています。

中学生

ネットやAIを使って詳しく調べたり、本人の話を最後まで聞いたりして、事実を正しく知ろうとする意見が目立ちます。決めつけたりせずに平等に接することや、家事などを体験して苦労を理解することを重視しています。小学生よりも情報を集める力が強く、高校生よりも本人の話を聞くという対話を大切にしているのが特徴です。

高校生

専門家の話を聞くことや、教科書で問題を取り上げるなど、より専門的な学びの場を求めています。遊びに誘うといった心の交流に加え、社会の思い込みをなくすための教育を重視する視点が特徴的です。小学生や中学生に比べて、個人の努力だけでなく教育を通じた社会全体の解決を求める、大人に近い視点を持っている点が大きく異なります。

Q1 ケアラー・ヤングケアラーを、ちゃんと理解するにはどうすればいいだろう?

総合的な分析

まとめ

よく使われていたキーワードは、「調べる」「聞く」「相手の立場」「体験」「手伝う」です。全体を通して、ヤングケアラーの大変さを知識として知るだけでなく、体験や対話を通じて心から理解し、決めつけや思い込みのない社会をみんなで作っていきたいという強い思いが共通の願いとして読み取れます。

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

意見件数(いけんけんすう) 291件(けん)

1 精神的(せいしんてき)・心理的(しんりてき)サポート

- 寄(よ)り添(そ)う
- 抱(だ)きしめる
- 気持(きも)ちに寄(よ)り添(そ)う
- 心(こころ)の支(ささ)えになる
- 優(やさ)しくなる
- 本音(ほんね)や辛(つら)いことを全部(ぜんぶ)吐(は)いてもらう
- 思(おも)いやる
- 泣(な)かせる
- 悩(なや)みを聞(き)いてあげる
- 信頼関係(しんらいかんけい)を築(きず)き、相手(あいて)の性格(せいかく)や人柄(ひとがら)を知(し)ってあげる
- 相談(そうだん)にのる
- 話(はなし)を沢山(たくさん)聞(き)く
- 慰(なぐさ)める

2 相談場所(そうだんばしょ)の整備(せいび)

- 相談(そうだん)できる場所(ばしょ)
(気軽(きがる)に相談(そうだん)できる場所(ばしょ)、無料相談所(むりょうそうだんじょ)、はけ口(ぐち)となる場所(ばしょ))をつくる
- 気軽(きがる)に相談(そうだん)できて真摯(しんし)に悩(なや)みを聞(き)いてくれるようなサポート窓口(まどぐち)をつくる
- ケアラー専門(せんもん)の電話番号(でんわばんごう)をつくる

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

3 理解と尊重

- ヤングケアラーの意見を聞く
- 自分にできることがあるか本人に聞いてみる
- その家庭の事情をよく聞く
- サポートする前に事情をよく聞く
- 深入りしない
- 踏み込みすぎない
- 相手の家庭を詮索しすぎない
- 周りの偏見や悪いイメージを少しでも減らす

4 日常生活の支援

- 家事代行サービスを利用する
- 家事（洗濯、食器洗い、掃除など）を手伝う
- ご飯をつくってあげる
- 食糧支援をする（いもなど）
- 食べ物をあげる
- 介護を手伝う
- 障害のある人を看護する
- お菓子の差し入れをする

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

5 休息(きゅうそく)・リフレッシュ

- ストレス発散(はっさん)をさせる
- 息抜(いきぬ)きをする時間(じかん)や、お休(やす)みをあげる
- 1人(ひとり)の時間(じかん)や、自分(じぶん)だけの時間(じかん)を作(つく)ってあげる
- 寝(ね)る時間(じかん)の確保(かくほ)
- 好(す)きなこと(趣味(しゅみ))をさせる
- 買(か)いたい物(もの)を買(か)わせる
- 祭(まつ)りやスポーツをさせる
- 一緒(いっしょ)に楽(たの)しいことをする(映画(えいが)を見(み)る、釣(つ)りをする)
- ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンに連(つ)れていく

6 学校(がっこう)でのサポート

- 授業(じゅぎょう)を家(いえ)で受(う)けられるリモート授業(じゅぎょう)
- 学校午前登校(がっこうごぜんとうこう)OK(オーケー)にする
- プリントやノートをもらう
- 周(まわ)りの人(ひと)に理解(りかい)されるように学校(がっこう)で説明(せつめい)する

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

7 制度・環境面の整備

- 安心できる環境や場所をつくる
  (安心・リラックスできるような場所)
- 環境を変えてあげる
- 施設に入れてあげる
- 一時的に預かる
- 国で支援するサポートを実施する
- 世界を変えるためにSDGsに
  ヤングケアラーに関する項目を追加する

8 ロボット・AI

- ロボット・AIを導入する
- お手伝いロボットを買ってあげる
- ルンバを家庭にプレゼントする

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

9 協力(きょうりょく)・助(たす)け合(あ)い

- みんなで支(ささ)える
- 協力(きょうりょく)する
- 力(ちから)を合(あ)わせる
- 友達(ともだち)とボランティア活動(かつどう)をしたり、ボランティアを増(ふ)やす
- 家族(かぞく)で助(たす)け合(あ)う
- 親戚(しんせき)など色々(いろいろ)な人(ひと)に頼(たよ)る
- 代(か)わりに家事(かじ)などをしてくれる人(ひと)を募集(ぼしゅう)する
- 手伝(てつだ)ってくれる人(ひと)に来(き)てもらう

10 経済的(けいざいてき)サポート

- 支援(しえん)するお金(かね)を用意(ようい)する
- お金等(かねなど)の支援(しえん)
  (支援金(しえんきん)を出(だ)してもらう)
- 税金(ぜいきん)や減税(げんぜい)、補助金(ほじょきん)など、国(くに)や行政(ぎょうせい)が金銭的(きんせんてき)に支援(しえん)する
- 家事(かじ)などに使(つか)うお金(かね)を国(くに)や行政(ぎょうせい)が支援(しえん)
- 募金(ぼきん)や寄付(きふ)を集(あつ)め、ケアラーにあげる
- 保険金(ほけんきん)や、ヤングケアラーたちに割引(わりびき)する

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

学校区分ごとの分析

小学生

「遊ぶ時間やお休みをあげたい」という意見がとても多いです。ロボットやAIを使って家事を助けるアイデアや、ディズニーランドへ行くなど、楽しくて明るい気持ちになれるサポートを大切にしています。中学生や高校生に比べて、元気になれる工夫を考えるのが得意で、直接的なお手伝いをする点は共通しています。

中学生

「じっくり話を聞く」や「寄り添う」という、心のサポートを重視しています。家事代行や食事の支援など、生活に役立つ具体的な助けを求める声も目立ちます。小学生よりも相手の気持ちを深く考え、高校生よりも身近な存在として友達同士で助け合おうとする、温かい視点が共通の願いです。

高校生

「リモート授業」や「お金の支援」など、社会の仕組みを変えるサポートを求めています。専門家に家に来てもらうなど、自分たちだけでなく大人の力を借りる視点が特徴です。小学生や中学生が遊びや対話を重視するのに対し、高校生は勉強とケアを両立させるための、より現実的で大人に近い解決策を考えています。

Q2 ケアラー・ヤングケアラーには、どんなサポートがあったらいいだろう?

総合的(そうごうてき)な分析(ぶんせき)

まとめ

よく使(つか)われていたキーワードは、「話(はなし)を聞(き)く」「手伝(てつだ)う」「お金(かね)」「遊(あそ)び・息抜(いきぬ)き」「場所(ばしょ)」です。全体(ぜんたい)を通(とお)して、ヤングケアラーが抱(かか)える家事(かじ)の大変(たい へん)さをロボットや専門家(せんもんか)の力(ちから)で減(へ)らすこと、そして心(こころ)の疲(つか)れを癒(い)やすために自由(じゆう)に遊(あそ)べる時間(じかん)や相談(そうだん)できる場所(ばしょ)を整(ととの)えることが、強(つよ)く求(もと)められています。